

令和3年度の学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>①将来の目標をもたせ、生徒の能力を最大限に伸ばす。 ②自律の精神を培い、望ましい社会性を養う。 ③多様な生徒へのきめ細やかな対応を組織的に行う。 ④PTA、同窓会及び地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。 ⑤組織及び個人の両面におけるコンプライアンスを徹底する。 ⑥円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。</p>		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>総務</p>	<p>①広報活動の充実 ②防災意識の向上 ③保護者との協力体制の充実</p>	<p>・HP掲載業務の分散化 ・防災教育の研究と実践 ・PTAの情報交換を密にする</p>	<p>・情報収集からHP掲載までの手順を明確にし、これまでよりも多くの教員で迅速に対応できるようにする。 ・生徒の防災意識を高めるための、掲示物や配布物を積極的に活用する。 ・引き続き役員会・理事会の場を有効活用するとともに、役員・理事以外の保護者からの声も集約できる方法を模索する。</p>
<p>学習指導</p>	<p>①65分授業の充実 ②個々の生徒に応じた学習指導の確立 ③新学習指導要領の実施に向けた学習指導や評価の研究</p>	<p>・個々の教員が教科指導力を向上させ、授業改善を図る ・多様化する生徒に対応しつつ、生徒が主体的に学習する姿勢を育てる ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善と観点別評価の充実を図る</p>	<p>・「年間指導計画並びに実施表」等を利用して、指導計画を綿密に立て、本校生徒の実態に合うように授業の改善を図る。 ・必要に応じて家庭学習の方法を具体的に示すなど、生徒が家庭学習に向き合いやすくするように工夫を凝らす。 ・増加傾向にある学校不適応生徒について職員間で情報を共有し、組織的に対応する。 ・新学習指導要領の実施に向け、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善を進める。また、80台のタブレットPCや全教室に配備されたプロジェクターなどのICTの有効活用について、研究と情報共有を進める。 ・観点別評価について研究を深め、生徒の学習活動や教員の指導の向上につながるようにする。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立 ②安全確保の推進 ③規範意識の醸成 ④いじめ防止対策の推進</p>	<p>・欠席、遅刻、早退の理由を把握し、適切な指導を行う ・生徒の安全を考え、組織的に対応する ・生徒に交通安全に対する意識を高めさせる ・予防的な交通安全活動に取り組む ・マナー、モラルの意識を高めさせる ・あいさつを励行 ・高校生らしい身だしなみを日常的に意識させる。 ・いじめの未然防止に係る取組を行なう ・いじめの早期発見、適切な対応につながる方策をとる</p>	<p>・統計をとり、遅刻過多者に対して指導を行う。 ・遅刻が多くなると予想される時期には、遅刻しないよう意識させ遅刻の減少を図る。 ・防犯講話や事例を通じ、安全への理解を図る。 ・防犯マニュアルを活用して、組織的な対応を図る。 ・交通安全講話や広報活動等により、交通事故統計を活用して危険箇所を把握し注意を与える。 ・職員とPTAとの連携による交通安全指導日を設け、危険箇所の街頭補導を行う。 ・生徒交通委員による安全マップの作成などを行う。 ・集会など一斉指導の場において、交通ルールの遵守、公共でのマナーについて理解させる。 ・日常的にあいさつの重要性について理解させる。 ・身だしなみについて生徒の自覚を促し、指導の組織化を図る。また、状況によっては、保護者との連携を図り、理解と協力を得る。 ・集会やLTを通じ、生徒がいじめを主体的に捉える機会を設ける。 ・生徒観察およびアンケートを行なうことにより、いじめの抑止を図るとともに、早期発見の一助とする。 ・組織的な情報の共有、適切な事案対処を図るようにする。</p>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
進路指導	<p>①進路選択能力の育成</p> <p>②進路に応じた進路設計</p> <p>③進路目標の堅持と幅広い視野の育成</p>	<p>・面談、進路相談の充実</p> <p>・適切な資料提示</p> <p>・進路検討会・入試情報交換会の充実</p> <p>・入試制度改革への対応</p>	<p>・生徒との面談を多くもってもらい将来の希望実現にむけての学習の方向性を示せるような充実した検討会にする。</p> <p>・進路情報を適切に生徒に示せるよう担任との連携を密にする。</p> <p>・生徒に望ましい職業観を育成するよう進路 LT の充実を図る。</p> <p>・各種説明会を充実させ、具体的な進路を熟考させる。</p> <p>・第一志望を貫く姿勢を育成する。</p> <p>・大学入学共通テスト初年度の反省を踏まえ、今後の指導に役立たせる。</p>
生徒会活動	<p>①部活動の充実</p> <p>②生徒の力で作り上げる生徒会行事</p>	<p>・部顧問会議と部長会議を有効活用する</p> <p>・生徒会執行部を中心とした指導体制の確立</p> <p>・生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく</p>	<p>・部活動と学習との両立を実現させ、質実剛健の校訓の達成を図り、尾張の雄にふさわしい実績が残せるようにする。</p> <p>・生徒会執行部、各常任委員会の主体的な活動を図り、有効な助言を与える。</p>
学校図書館	<p>①図書館の利用機会、利用者数の増加</p> <p>②利用しやすい図書館作り</p> <p>③視聴覚室の機器の整備</p>	<p>・授業、LTでの図書館利用をよびかけ、広報活動、図書委員会の活動を充実させる</p> <p>・利用しやすいよう館内の環境を整える</p> <p>・随時機材の点検管理を行う</p>	<p>・書評、教員や生徒の推薦本など、情報収集に努め、良書を配架する。</p> <p>・「図書たより」「新着図書案内」「図書館報」を定期的に発行し、読書の意欲を喚起する。</p> <p>・図書委員会の活動、企画行事を充実させる。</p> <p>・季節ごとのテーマを設定し、テーマにちなんだ本を、来館者の目の留まりやすいように配架を工夫する。</p> <p>・視聴覚教室を利用しやすいよう機器を整備する。</p>
学校保健	<p>①美化活動の充実</p> <p>②環境問題取り組みの充実</p> <p>③保健・安全教育の充実</p> <p>④保健安全指導の充実</p>	<p>・通常清掃・特別清掃の充実</p> <p>・ゴミの分別、古紙回収を徹底</p> <p>・生徒保健委員会活動の充実</p> <p>・心身の健康や安全指導の充実</p>	<p>・通常清掃・大掃除では、特にトイレ清掃に重点を置く。特別清掃では、渡り清掃・側溝清掃を通して校内美化を推進する。校内外美化活動を通して地域美化の精神を養う。</p> <p>・教室等で生徒各自がゴミの減量・分別を行い、さらに、分別場所で清掃係がゴミ分別・古紙回収を行うことにより、美化意識・環境意識を一層高める。</p> <p>・生徒保健委員が、水質検査、温湿度測定、熱中症指標表示、各種ポスター作成、「保健だより」発行などの活動を行い、学校全体に呼びかける。</p> <p>・教育相談、特別支援活動を、SCや担任と連携を取りながら進め、保健部全体の取組みとしていく。毎朝の健康観察実施により、生徒の健康把握に努める。また「保健だより」発行により、時期に合った保健情報を生徒に周知する。感染症予防や夏季の熱中症予防についてはこれまでと同様に、学校全体の意識向上を図る。</p>
SSH	<p>①探究力向上に向けたプログラム開発</p> <p>②SSHの成果の把握</p>	<p>・課題研究の充実</p> <p>・教科・科目の垣根を越えた教材開発</p> <p>・課題研究の成果物の分析</p>	<p>・生徒の主体性や多様性、共働性を養う取組となるように関係者で連絡を取りながら進める。</p> <p>・教科の垣根を越え担当者間で連携して教材開発を進める。</p> <p>・生徒の成果物や取組状況を同じループリックを用い評価する。</p>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
ファッション創造科	<p>①各専門分野の専門的知識・技術の習得</p> <p>②創造力・表現力・判断力・実践力の育成</p> <p>③地域社会に貢献する人材の育成</p>	<p>・ファッションや保育に関する専門的知識・技術の習得</p> <p>・豊かなライフスタイルを創造する能力や実践力等の育成</p> <p>・地域社会が求める資質や能力の向上</p>	<p>・各分野のスペシャリストを目指して、専門性を高め、個々の適性に応じた進路実現を図る。</p> <p>・校内外における研修や講習の充実を図り、新しい時代に適応できる様々な能力を育成する。</p> <p>・インターンシップなどキャリア教育の推進を図り、地域社会の求める資質や能力を育成する。</p> <p>・地域のイベントへの参加やファッション創造科の集大成である卒業研究発表会等を実施することにより教育活動の充実及び地域社会へのPR活動に努める。</p>
1年	<p>①基礎学力の涵養と発展的な思考への意欲の育成</p> <p>②学習、特別活動における仲間と切磋琢磨する経験</p>	<p>・主体的な学習法の設定</p> <p>・人間関係の構築</p> <p>・学びの環境整備</p>	<p>・生徒が、卒業後を見越した目標を設定し、その目標達成に向けての学習のモチベーションが上がる授業を実践する。</p> <p>・高校生として自ら計画を立て、過程を重視した思考と理解を伴う学習ができるように指導する。</p> <p>・部活動、学校行事に積極的に取り組み、「創造」する経験を共有させる。</p> <p>・時間や期限を守ること、交通安全マナーなど、基本的な生活習慣の大切さを認識させ、本校への帰属意識を高めて、自律した生活を送らせる。</p>
2年	<p>①自ら考え、行動する能力の育成</p> <p>②幅広い教養の習得</p>	<p>・基本的な生活習慣の確立</p> <p>・基礎学力の定着</p> <p>・高い進路目標の設定</p>	<p>・安易な遅刻、欠席をさせない。</p> <p>・社会的なマナー、ルールを遵守させる。</p> <p>・身だしなみ、言葉遣い、立ち振る舞い等を身に付けさせる。</p> <p>・授業を大切にしている姿勢を身に付けさせ、予習、復習を習慣化させる。</p> <p>・学習と部活動の両立を目指し、規則正しい生活を心掛け、家庭学習の時間を確保させる。</p> <p>・日常の課題の取り組みの質的向上を図るとともに、提出期限を守る姿勢を身に付けさせる。</p> <p>・普通科の文理系、ファッション創造科の各コースに分かれた2年次では、興味のある教科や専門分野に関する研究に取り組みせ、卒業後の進路を見据えた将来像を描かせる。</p>
3年	<p>挑戦する心の育成、仲間との共生</p>	<p>①学力、思考力、表現力の向上</p> <p>②高い進路目標とキャリアの設定</p> <p>③教養と社会性の育成</p>	<p>・日常の授業を大切にさせる。</p> <p>・予習、復習を徹底させる。</p> <p>・自ら考える学習を身に付けさせる。</p> <p>・自分の考えを簡潔に表現する能力を身に付けさせる。</p> <p>・卒業後の進路を見据えた進路目標を設定させる。</p> <p>・専門分野に関する幅広い知識を身に付け、職業や人生について考えさせる。</p> <p>・学校行事等の様々な事業を通し、全人的な成長を促す。</p> <p>・主体的に行動する能力を向上させる。</p> <p>・集団におけるリーダーシップの育成と自己の責任感の定着を目指す。</p> <p>・社会的なルールやマナーを遵守させる。</p>
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<p>・新学習指導要領がねらいとする学力観を意識した授業改善と、多様化する生徒に対応した学習活動の推進について</p> <p>・生徒指導における基本的な生活習慣の確立について</p> <p>・部活動と生徒会行事の充実について</p> <p>・衛生委員会等による働き方改革の推進と、教職員の長時間労働による健康障害防止について</p>	

